

## 試験速報

亜塩素酸水を噴霧することによる浮遊菌の抑制試験（25m<sup>3</sup>空間）

### ・試験方法等

亜塩素酸水を空間除菌デバイスにより10分間噴霧し、浮遊細菌数を測定した。試験菌は、黄色ブドウ球菌を使用。

### ・結果

表1. 経過時間ごとの浮遊菌数 (CFU/20 L-air)

試験条件	時間 (分)	
	0	10
① 自然減衰 (コントロール)	340,000	270,000
② 亜塩素酸水噴霧 (50ppm 設定)	360,000	4,900
③ 亜塩素酸水噴霧 (200ppm 設定)	450,000	150

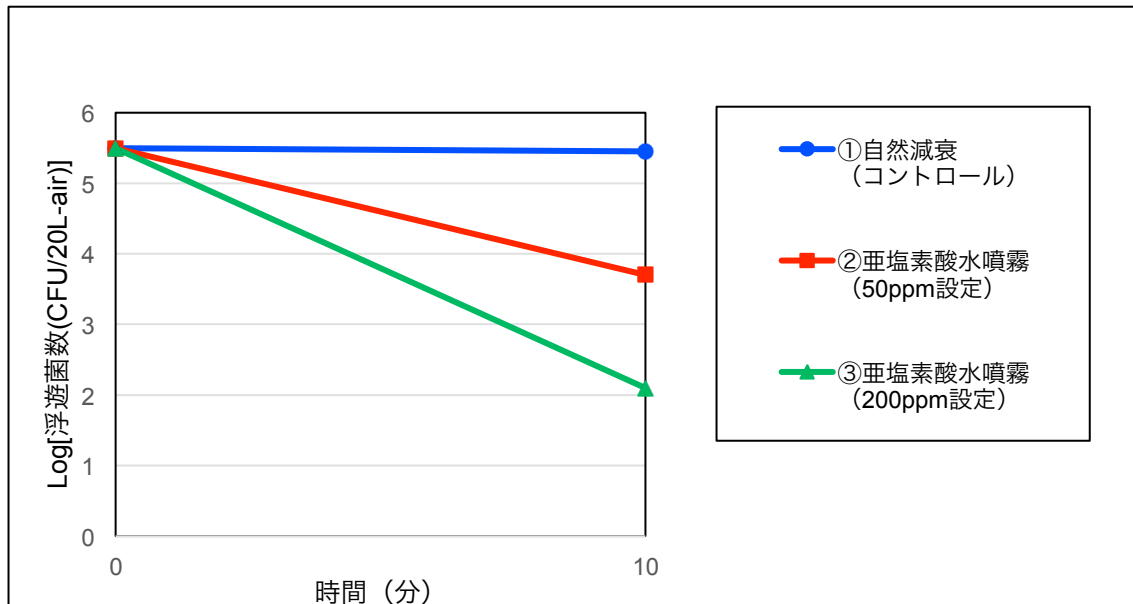


図1. 経過時間ごとの浮遊菌数

## 試験速報

亜塩素酸水を噴霧することによる浮遊ウイルスの抑制試験（25m<sup>3</sup>空間）

### ・試験方法等

亜塩素酸水を空間除菌デバイスにより10分間噴霧し、浮遊ウイルス数を測定した。試験ウイルスは、バクテリオファージ（大腸菌ファージ）を使用。

### ・結果

表1. 経過時間ごとの浮遊ウイルス数 (PFU/20 L-air)

試験条件	時間 (分)	
	0	10
④ 自然減衰 (コントロール)	23,000	18,000
⑤ 亜塩素酸水噴霧 (50ppm 設定)	36,000	2,700
⑥ 亜塩素酸水噴霧 (200ppm 設定)	28,000	100

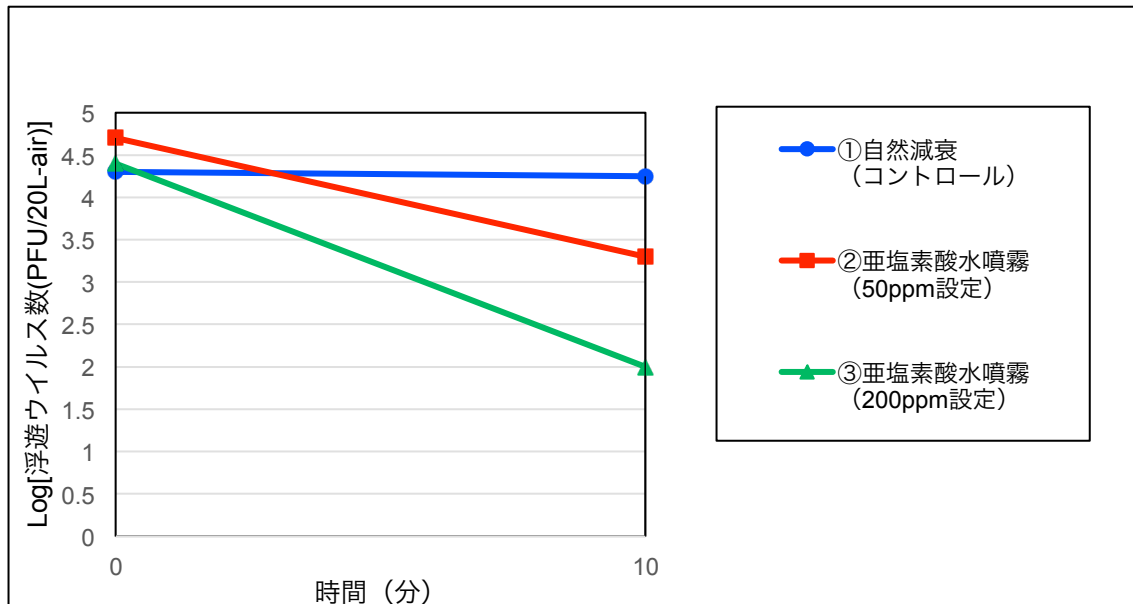


図1. 経過時間ごとの浮遊ウイルス数

## 試験速報

機能水を噴霧することによる浮遊カビの抑制試験 (25m<sup>3</sup> 空間)

### ・試験方法等

亜塩素酸水を空間除菌デバイスにより 15 分間噴霧 45 分間停止する間欠運転をし、1 時間ごとの浮遊カビ数を測定した。

試験カビは、*Penicillium citrinum* (青カビ) を使用。

### ・結果

表 1. 経過時間ごとの浮遊カビ数 (CFU/20 L-air)

試験条件	時間 (hr)			
	0	1	3	5
⑦ 自然減衰 (コントロール)	61,000	60,000	46,000	23,000
⑧ 亜塩素酸水噴霧 (50ppm 設定)	85,000	32,000	18	< 2
⑨ 亜塩素酸水噴霧 (200ppm 設定)	61,000	19,000	10	< 2

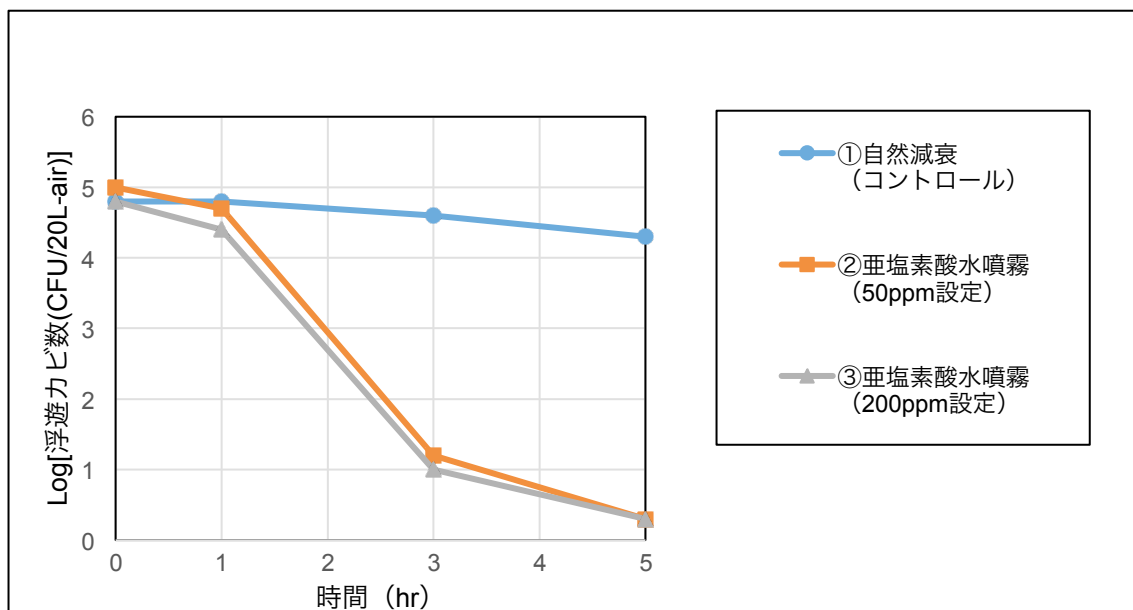


図 1. 経過時間ごとの浮遊カビ数